



# 学校だより

<http://www.sumida.ed.jp/ryogokusho/>

令和8年4月30日

墨田区立両国小学校

墨田区両国4-26-6

TEL 3634-7876



## 高さほまれをあらわさん

校長 山崎 隆

両国小学校の校歌は「高さほまれをあらわさん」と結ばれています。辞書で調べてみると、「ほまれ」とは「世間から高く評価され、誇りに思える名誉な状態のこと」とあります。私は、3月25日の修了式で各学級の代表児童に終了証を授与したあと、全校児童に次のような話をしました。

卒業式では、6年生や5年生と一緒に校歌をうたいました。両国小学校の校歌は「高さほまれをあらわさん」という歌詞でしめくくられています。この「ほまれ」とは、どのようなことなのでしょう。「ほまれ」とは、「人からほめられて、名誉なこと」という意味があります。校歌には、「人からほめられるような名誉あることを行動にあらわしましょう」という意味が込められているのです。みなさんは、「自分は両国小の子供だ」「両国小はよい学校だ」「たくさん自慢できるよさがある」という強い気持ちをもってください。これが「両国小の子供のほまれ」です。そして、両国小の子供ならば、3つの教育目標をしっかりとがんばってください。「進んで学ぶ子ども」「たくましい子ども」「心の温かい子ども」です。この姿を、毎日の学校生活でみなさん一人一人が、しっかりとあらわして、いろいろな人たちからたくさんほめられるようになりましょう。そしてその積み重ねが、両国小学校をさらによくしていくのです。

子供たちは、いつものようにしっかりと話を聞いていました。頷きながら聞いている子もいました。私は、水が乾いた砂にしみ込んでいくように話の内容が子供たちの中にすっと入っていくように感じました。

それから二週間ほどして、令和8年度が始まりました。始業式では、新しい学年でがんばることとして、繰り返し「高さほまれをあらわさん」の話をしました。両国小学校の先生たちにもことあるごとにこの話をしています。

保護者・地域の皆様には、一年前の着任以来、学校経営の柱を次の4点として教育を進めることを説明してきました。

- 「教育目標がすべての児童の日々の生活に目に見える姿として表れている学校」
- 「心の通い合う温かさがあり、明るく清潔で安全な教育環境をつくり出す学校」
- 「教育機能発揮に向けて、保護者や地域、関係者と連携して児童を育む学校」
- 「教育への使命感と責任のもと、協働と研鑽で充実した教育を推進する学校」

令和8年度の学校経営では、教育目標の「進んで学ぶ子ども」「たくましい子ども」「心の温かい子ども」の姿が児童の日々の生活に目に見える姿として表れている学校づくりを柱の重点に据え、校歌の一節「高さほまれをあらわさん」を合言葉として、教育目標を具現化する教育を推進していきます。あらためて、ご理解とご協力をお願いいたします。